

感染症情報 10月23日～29日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	695例(堺市	30例)
②溶連菌感染症	321例(堺市	23例)
③RSウイルス感染症	306例(堺市	19例)
④手足口病	146例(堺市	10例)
⑤突発性発疹	85例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	62例(堺市	3例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比9.8%増の1,857件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、突発性発疹の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より14%増、堺市で前週より15%増であった。溶連菌感染症は府下で前週より2%増、堺市で前週18例→今回23例であった。RSウイルス感染症は府下で前週比15%増、堺市で前週21例→今回19例であった。定点当たりで見ると、前週が1.3で、今回は1.5であった。手足口病は府下で前週比7%増、堺市で前週16例→今回10例であった。

インフルエンザは府下で前週43例→今回62例で44%増、堺市では前週1例から今回は3例となった。定点当たりでは前週0.1で、今回は0.2である。

麻疹や風疹の報告はなかった。